

**R18**  
ADULT ONLY  
18歳未満閲覧禁止

無知な  
人造乙女たち

—エイダ編1—

ト  
ー  
ル

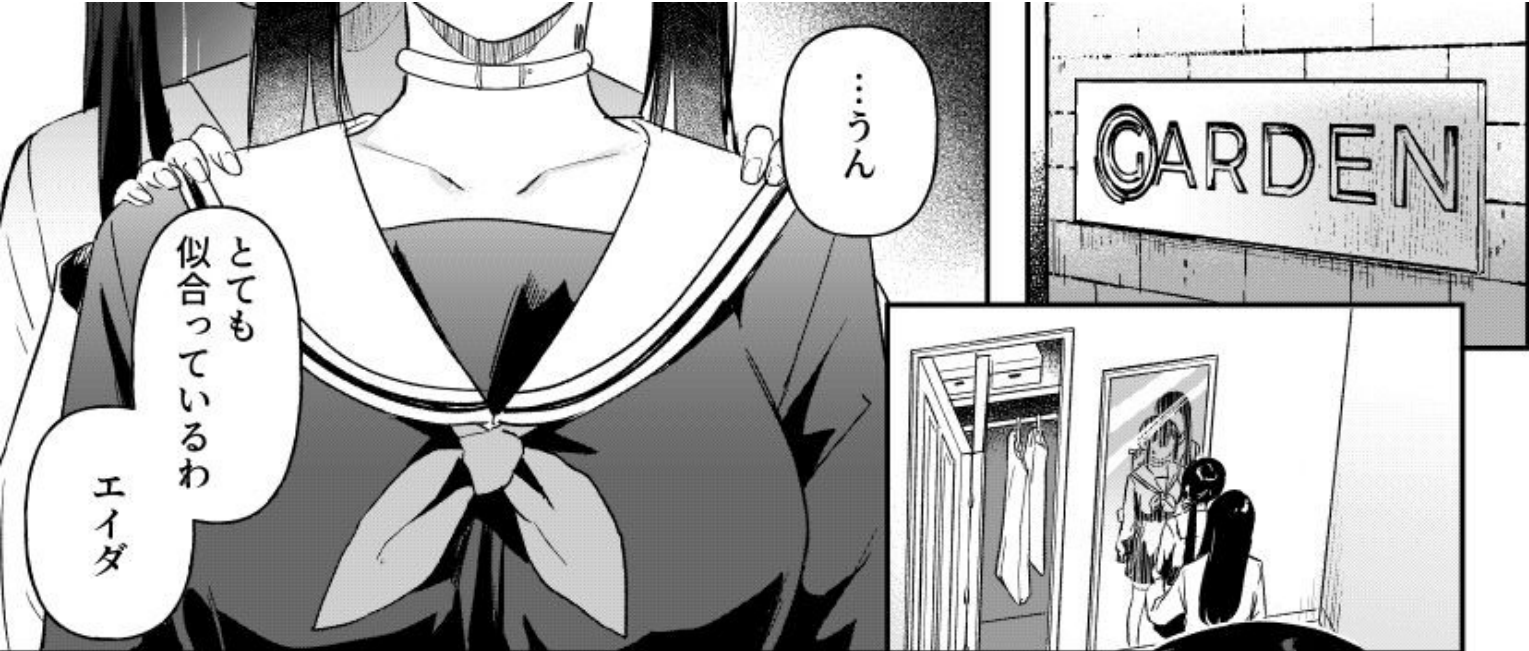


## 前回までのあらすじ

AIやロボット開発を行う会社『ガーデン』は、人間の通う学校に、研究のために女性型アンドロイド『イブ』を送り込む。彼女は無知であることを利用され同級生の性欲のはけ口にされていた。

彼女の開発者である『マザー』は、その事実をイブに伝えるが人間の道具として扱われることに彼女は全く動揺を見せず、その光景にマザーは「完璧」と微笑むのだった。

—そして今、2体目のアンドロイドが新たな学校へ送り込まれようとしていた。





あっ!

かわいいわが子…



いって  
らっしゃい



知ってる

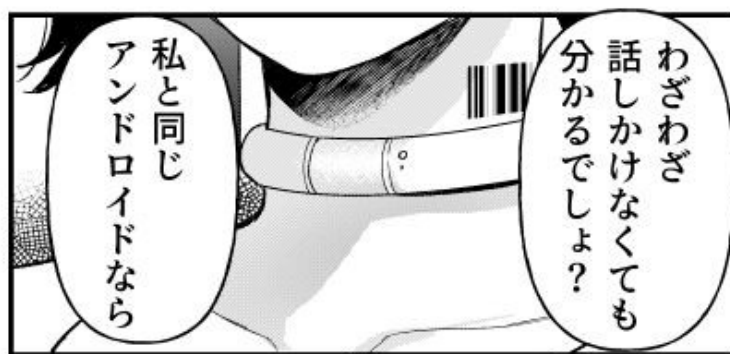
今さっき  
視覚情報から  
もらったデータを  
検索したから



あなたが  
エイダちゃん?

初めまして  
私はイブ!

あなたと同じ  
アンドロイドなの  
よろしくね!



わざわざ  
話しかけなくても  
分かるでしょ?

私と同じ  
アンドロイドなら



でも安心して

あなたが失敗でも  
私がいるから…



あそっういえば  
イブちゃんって  
学校で倒れたん  
だっけ 「充電切れ」で

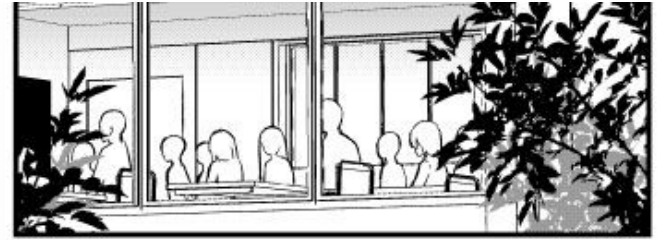
あっ…

一昔前の  
お掃除ロボットでも  
自分でステーションに  
戻れるのに…



ついに  
僕らのクラスに  
やってきたんだ…!

SFの世界でしか  
会えなかった  
アンドロイドが



その日は  
興奮していた



ん?

パキ  
パキ

な、  
聖司<sup>せいじ</sup>



アンドロイドって  
エッチなことしたら  
どんな反応するの?

は!?



はその  
花園エイダです

株式会社「ガーデン」が  
開発中のアンドロイドです

ここへは人間のことを  
学ぶために  
やってきました

どうか私を特別扱いせず  
普通の人間として  
色々教えてくれると  
嬉しいです



ネットで言ってる  
奴らがいてさ

お前SF好きって  
言ってたじゃん

興味あるだろ？

なっ

ないよ

そんなの

考えたことも  
ないって

ひびや  
日々家は  
下品だな！



でも僕は純粹に  
彼女の内面に  
興味があった



…確かに言われれば  
気になる…けど



キュッ

先生  
できました

ばん

先程の説明から  
この国の人口減少による  
影響を図解と数式で  
まとめてみました

先程の先生の説明より  
分かりやすくなったと  
思うのですが

どうですか？

こりや  
まいった

すげー

あー

もうこれ  
先生いらんかも  
しれんね



はい先生



はいっ  
それはやっぱり

火縄銃の  
効果的な使用とか  
領土拡大のための  
巧妙な同盟戦略  
ではないかと：



—さて

では織田信長は  
なぜこれほど多くの  
戦で勝てたと思う？

誰か意見ある人  
いるかな



織田信長の成功は  
戦術や武器の使用だけ  
ではないと思います

その時代の社会構造、  
経済、あとは外国との  
交流とか：  
多岐にわたると思います

例えば彼はキリスト教の  
布教をある程度認めて  
いたんですよね？  
これは彼が寛容だから  
というよりも

鉄砲などの先進技術を  
西洋から導入するため  
だったのでは  
ないでしょうか

それに—

す  
ストップ  
花園さん！



すごい…って  
今の私の発言？

私が言ったことは  
先生の解説に  
あったことを  
まとめたただだよ？

みんなにも  
理解できるでしょ？



二人とも  
ありがとう！

助かったわ

ふん

すごいねー  
アンドロイドは







なんだ  
騒がないのか  
つまらん

...

ドキ

ドキ...



何をしてるの  
私体  
日々家くん  
気になるの？

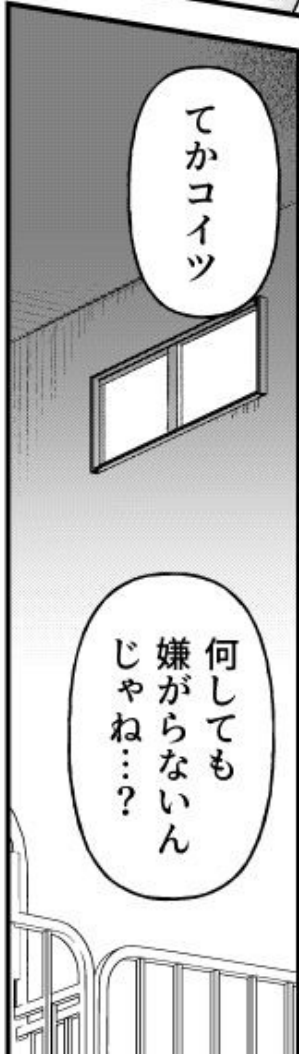
ん？そうそう  
人間とどう違う  
のかって  
特に聖司の方がね

ちっちが...!!



ぽろ  
ぽろ  
...

!



てかコイツ

何しても  
嫌がらないん  
じゃね...？



ああっ  
日々家っ

よし  
ついでにまんこ  
あるかも  
調べてやる...



すっげ  
ちゃんと  
作られてる...

ふんっ♡



はっ

まだ続けるの？  
そろそろ校舎案内に  
戻ってほしいのだけど

もっと腰上げて…

うわ…っ  
オナホみたいなの  
作りかと思ったら  
めっちゃ生々しいじゃん  
えろろ…

もうちょっと  
待ってて…

てかなんか  
濡れてね…？  
機械なのに  
どうなってんだ

てか…



なに言ってるんだよ  
気になってるくせに…

ぐちゃぐちゃ

ひ…日々家くん  
それ…  
なんだか…っ

ヒクッ…



あ…

ヒクッ…

うそ  
今反応した？

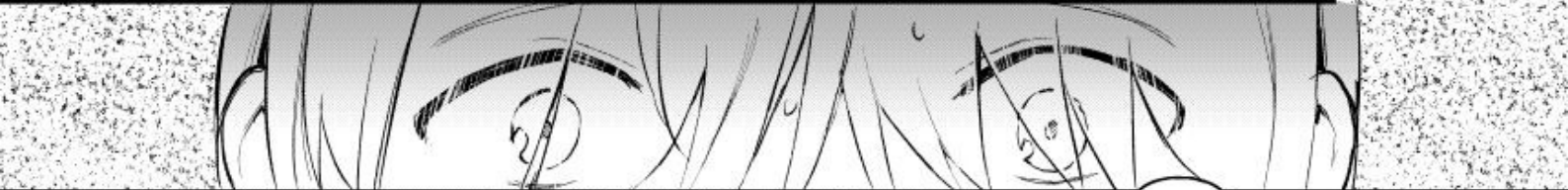


おい聖司！  
こいつ今俺の手マンで  
反応したぞ！

突っ立てないで  
お前も触れよ  
柔らかくて  
リアルだぞ

嫌だ…  
僕はそんなこと  
しない…







やべ…  
絡みついてきて  
気持ちっ…

なっ  
何をして…

は…

?!  
みちゅ♡  
みちゅ♡

アッ



うわっ  
うわっ

壊さなきゃ  
問題ないって

てか  
アンドロイドって  
要は機械なんだろう？

たっ、たっ、たっ

うわっ…  
これやば…!  
すぐ出せ…っ



大丈夫だって！  
絶対壊したり  
しないから…

私の体は  
貴重な研究のために  
存在するの！  
乱暴な  
扱いは…っ



なんだよ  
そこに居た  
お前も共犯だろ

やめろよ  
こんな…っ

!







うわっ  
押さないでっ…



だっ…  
だめだっ…!



いやだ  
離してよっ

ヤツとけよ  
お前も童貞だろ



ソワソワ

うぐっ



ぬちが

見ろよこれ…  
すげー…



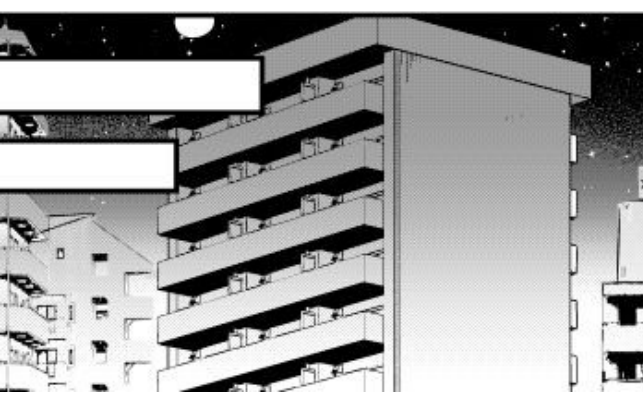
あ…  
ふう…  
…  
…  
…



…

おまっ  
俺でも多少  
持ったのに…

まあ聖司は  
女子免疫無いもんな  
無理させてごめんな





あのまま  
挿れていたら…

未知の感触を  
何度も想像し  
何度も果てた



いつもはネットで  
オカズを見ながら  
していたのに

この日は  
自分の記憶だけで  
抜いて…

そして  
抜いても抜いても  
満足できなかった



僕は  
その日の夜

何度もオナニーした



やめなよ…  
彼女をモノ扱い  
するの…

はあ？  
なんだよ  
その言い方



あの様子だと  
昨日のこと  
なんとも思っ  
てないみたいだ

ううん…



てかモノだと思っ  
て無いの  
にあんな事す  
るとかそ  
ちの方がやば  
くね

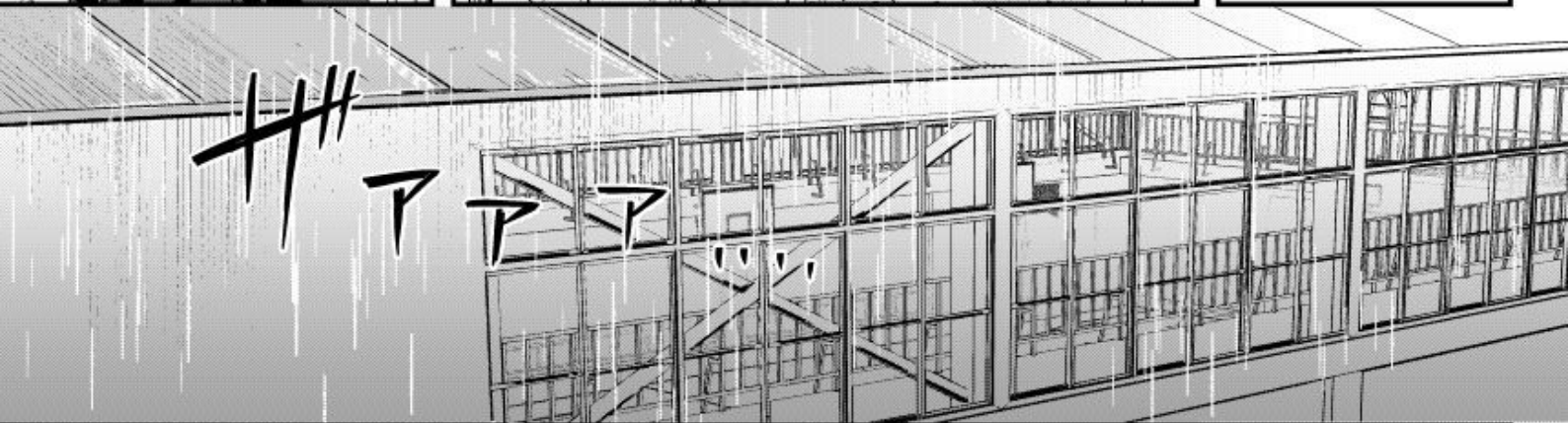
お前は  
違うのかよ

っ…言いたいの  
はそういうこと  
じゃなくて…!!



誰にも言うな  
って約束も守り  
そうだし

今日も放課後  
オナホにしようぜ







この場所に  
連れてきたって  
ことは

ドキ...

ドキ...

ドキ...

ドキ...

昨日のあれ  
今日もするの...?

は

は



むしろ僕を  
正直にさせた

して...  
ほしいの...?



彼女と2人きり  
の空間は



にっ  
握って...

もっとしゅわん

え...?  
こう...?

ドキ...



こうやって擦ると  
気持ちいいんだ...っ

そのまま  
握ってて...

う、うん...?

ドキ...

ドキ...









これが昨日  
妄想の中で犯し続けた  
おまんこ...

エイダちゃんのおまんこ...

そんなにしたら  
体壊れちゃうっ...



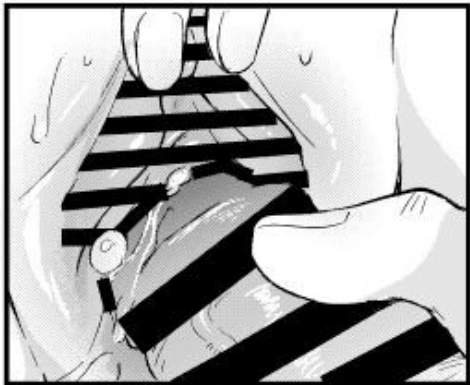
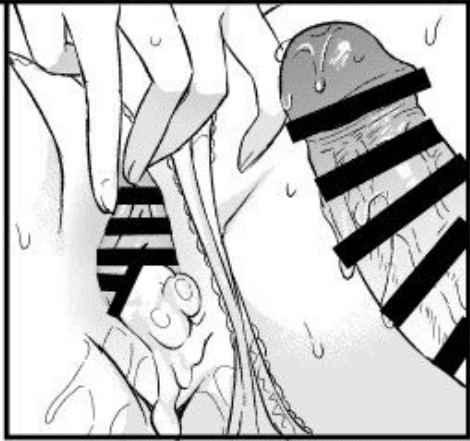




すごい…  
昨日ティッシュに出した精子が  
今日はこの中に…

マホ…

ごめん…  
気持ち良すぎて…  
また僕 乱暴に  
扱っちゃったよね…



あっ…

あう



なに…?  
今の…



すごい…

気持ち  
よかった…



どろろ

ぐちゃ

ぐちゃ



アイダちゃんっ...

アイダちゃんっ...

んうっ♡

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ



無垢で純粹で  
いやらしい  
生き物なんだ...

キミはなんて

わっわっわ

わっわっわ

ハッハッハッ

イって...ッ

またイかせたい

多分さつき  
イッてた

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

わっわっわ

わっわっわ



射精してるのに  
全然ちんこ  
収まらない……ッ

腰止まらない……ッ!!



んうッ

んッ



セックスのこと  
何も知らないのに

そんなエッチに  
おねだりして……



奥……

気持ちいい  
よお……♡

もっと  
してえ……♡



こんななんじゃっ…

またすぐ出ちゃう  
じゃないか…っ

たいたい

たいたい

たいたい

たいたい

無自覚で

誘惑するなんて

エロ過ぎるよ…っ

はいはい  
あらっ

あらっ



この身体…  
この存在…

僕だけのものに  
したい…っ



ムムム

ムムム



エイダちゃん

一番気持ち良くなる時には『イク』って言うんだ

いい？  
言える？

小枝くん…っ  
いく…♡

僕も…っ  
一緒にイクからっ…

はっ  
はっ

たっ  
たっ  
たっ



く…♡  
く…♡  
く…♡

く…♡

く…♡



く…♡  
く…♡

イクッ  
イク♡  
イク…♡





アンドロイドの  
開発目的のこと

キミの開発者は  
なんて言っていたの？

「人類のため」…って

きっと大変な作業や  
労働を任せたり  
人間たちがより快適に  
暮らせるように  
したいんだと思う



キミの存在は  
僕たちの明るい  
未来のためなんだね

そう

体を乱暴に  
扱わないでって  
言った理由  
理解してくれた？

うん

じゃあ僕が  
エイダちゃんの体  
守ってあげるよ！

人間には悪いやつも  
いるから

```
class QuantumRabbit:
```

```
def __init__(self):
    self.sensor_qubits
    self.circuit = Quan
```

```
def erroneous_sensor_pr
# Introducing an er
self.circuit.h(self
self.circuit.cx(sel
```

```
# Introducing an un
self.circuit.t(self
```

```
def measure_sensors(sel
self, measur
```

```
def sim
sim
job
res
cou
retu
```

うん…



だから…

また僕と  
こういうこと  
してくれるよね…？



Doll  
Ignorant artificial maidens